

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2017

6月

No.144



特集 P2・3

「福祉連絡会」で
見守り・支え合い
社協が推進する小地域福祉活動

ひ孫と
いっしょ

シリーズ143

一宮町 須行名

野崎 清子さん(92歳)

○颯大くん(7歳)

○こころちゃん(4歳)

野崎 大輔さん・加奈さん

■長男・長女



福祉連絡会で「地域見守り会議」を開催して、福祉活動の取り組みや自治会内の課題についてみんなで話し合いました(五十波福祉連絡会)

「福祉連絡会」が

福祉活動の推進役

小地域福祉活動は、地域住民の
だれもが「**ふだんのくらしのしあわせ(ふくし)**」を実現できる地
域づくりをめざして、つながりづく
り(孤立防止)、見守り(困りごと
の発見)、生活支援(ちょっとした
手助け)など、自治会や隣保などの

宍粟市社会福祉協議会(以下、本会)では、「第
3次地域福祉推進計画(平成28年度～31年度)」の
中で、「地域の見守り活動を進める」を活動項目と
して掲げており、孤立する人をなくす、支え合い
の地域づくりに取り組んでいます。
今月号では、自治会を基盤とした「小地域福祉
活動」を進めるために重要な役割を担っている「福
祉連絡会」と「福祉委員」について考えます。

「福祉連絡会」で

見守り・支え合い

社協が推進する小地域福祉活動

身近な地域で、住民が力を合わせて
取り組む福祉活動です。

本会では、小地域福祉活動を推
進していくために、**自治会の中に福
祉活動を担う組織＝福祉連絡会**の
設置を進めており、155自治会に
福祉連絡会の輪が広がっています。

福祉連絡会の

構成メンバーは?

話し合いや学習の場
に活用ください



福祉連絡会の組織は、自治会長、
民生委員・児童委員、民生児童協力
委員、福祉委員、老人会長、女性会
役員、消防団役員、ボランティア代
表など、**みなさんの地域の福祉活動
を進めていく住民で構成されてい
ます。**

しかし、それぞれの地域の実情
(世帯数、高齢化率等)や抱える課
題は異なり、地域の実態に合わせた
活動や組織づくりを進めていくこ

とが大切です。

「福祉委員」は

福祉連絡会の一員

その中で、**福祉委員は、福祉連
絡会の一員として**、①みつける(自
治会内の困りごとの発見と把握)②
しらせる(福祉関係者との連携と情
報の共有)③つながる(自治会内の
福祉活動への参加・協力)④ひろめ
る(福祉情報の発信や啓発)といっ
た大切な役割があります。



福祉委員はどんな人が
なっているの？

福祉委員は、自治会の隣保数を
基本に選出されており、隣保長、組
長、自治会役員、婦人部、女性会、
ふれあい喫茶ボランティアなど兼
務で活動される方が多く、それぞれ
の立場や役割の特徴を活かした取
り組みが期待されます。

例えば、隣保長や組長は、役員
会に隣保内の情報を持ち寄り共有
したり、配布物などで高齢者を訪問
する機会は、福祉委員として見守り
を兼ねた活動となります。

女性会の場合は、自治会行事や
喫茶への協力、高齢者の行事参加へ
のお手伝いなど、女性らしい柔軟な
活動を活かしながら福祉委員とし
ての役割を果たすことができます。

民生委員・児童委員と
福祉委員の違いって？

また、住民のみなさまからよく
質問を受ける民生委員との違いで
すが、民生委員・児童委員は、民生
委員法に基づき厚生労働大臣から
委嘱されていますが、福祉委員は、
自治会長の推薦により本会会長が

委嘱しています。

ともに地域の福祉活動を推進す
る役割を担っており、活動内容や対
象者に違いはなく、互いに協力して
地域の困りごとなどの解決に向け
た活動を行います。

何かのカタチで
福祉活動に参加を

小地域福祉活動は、まずは知り
合つて、つながることからはじまり
ます。ふれあい喫茶やサロン、訪問
活動、ボランティア、行事への参加
など、何かのカタチで福祉活動に関
わることが、見守りや支え合いを
進める第一歩です。

(地域支援課長 波多野好則)



ふれあい喫茶の機会に学習会を計画する自治
会が増えています(上ノ上福祉連絡会)

あなたの自治会の福祉活動を応援します！

29年度小地域福祉活動助成事業 ～4支部で説明会を開催～

29年度も小地域福祉活動を実践される自治会に
対し活動運営費を助成します。福祉連絡会でご相談
いただき申請下さい。また4支部において、自治会長
さんと代表福祉委員さんを対象に「小地域福祉活動
説明会」を行います。

●活動内容および助成金額

- ①話し合いの場づくり
- ②見守り・支え合い活動
- ③つどいの場や居場所づくり
- ④福祉を学ぶ機会づくり
- ⑤自治会の特性に応じた活動

小地域福祉活動説明会	
山崎	6/20 (火)
一宮	6/23 (金)
波賀	6/22 (木)
千種	6/21 (水)

年間2万円+(H28年度社協一般会員数×100円)

- 助成金の交付 7月25日(火)を予定しています。



この助成事業は、昨年度皆さまからお寄せいただいた
赤い羽根共同募金の配分金を財源にしています

福祉委員研修会のお知らせ ～テーマは「認知症」～

7月に福祉委員さんを対象に研修会を行います。
福祉連絡会の代表さんを通じてお知らせしますので
よろしくお願いします。



集いの場で活用できる遊具
や備品を紹介
(昨年の研修会から)

支部	自治会数	福祉委員数	福祉委員研修会
山崎	85	286	7/12 (水)
一宮	39	259	7/19 (水)
波賀	19	183	7/14 (金)
千種	13	149	7/13 (木)
合計	156	877	

やさしさ

歴史を学んで、戸原を知ろう

三世代交流ふれあいウォーキング

5月21日(日) 戸原地区(川戸・宇原・下宇原自治会)において、「第6回三世代交流ふれあいウォーキング」が開催され、戸原小学校の児童や保護者、地域住民など百七十人が参加しました。

自治会と各種15団体からなる「ふるさと戸原地域づくり委員会」が中心となり、神社や古墳・旧山崎藩の蔵跡などを巡り、地域の歴史を学びながら、ふるさとへの意識醸成と住民同士の交流を深めるため、毎年行われています。

子どもたちは、「歴史の話は難しいけど、いろいろ知れてよかった」「古墳の中に入ったのがおもしろかった」と、楽しみながら歴史を学んでいました。

当委員会の南光隆允会長は、「三自治会が協力し合ってこそ、戸原地区



宇原・下宇原の2コースに分かれて史跡を巡り、地域の人や戸原郷土史学習同好会会員から説明を受けました(戸原小東の山麓の忠霊塔)

を盛り上げていける。今後も地区住民の交流を大切に、地域づくりを進めたい」と話されました。

このような取り組みを通じて、子どもたちが地域住民と交流し、地域の歴史や良さを知り、ふるさとへの愛情や愛着を育てながら、地域を担っていくってほしいと感じました。

(山崎支部 山本めぐみ)

い

喫茶の後の話し合いが大切

福中ふれあい喫茶「ふくろう」

福中は、下三方地区にある世帯数30戸の自治会で、福祉委員6人は喫茶ボランティアとしても活動されています。

今年で15年目を迎えるふれあい喫茶「ふくろう」は、年10回開催され、だれもが気軽に集える地域の憩いの場になっています。

5月21日(日)、公民館を訪ねると、

子どもからお年寄りまで20人が集まり、和気あいあいと過ごされていました。

喫茶終了後、福祉委員で話し合いが行われ、「今日は子どもが来てくれて良かったね」「最近、顔を見てない方どうされてるかな。訪問してみようか」との意見が交わされていました。

「喫茶の後の貴重な情報交換の場になってる



参加者のおしゃべりやさりげない気配りを大切にされる福祉委員のみなさん。青いバンダナが目印です(福中公民館)

よ。次回も頑張ろうと思うし、楽しく活動できるね」と黒田洋美さん。

福中の福祉委員は、普段からの声かけや安否確認を兼ねて喫茶のチラシを手配するなど、みなで協力して行うことを大切にされています。

みなさんの地域でも、喫茶の後に話し合いや情報交換の場を持つてみてはいかがでしょうか。社協は、みなさんの活動を応援させていただきます。

(一宮支部 上川あゆみ)

や・い・は・ち トピックス

えんげ 縁下みたいな暖かい居場所

飯見に「ひとのわ」が誕生

5月26日（金）、飯見自治会の新たなつどいの場「ひとのわ」にお邪魔しました。

ひとのわは、高齢者世帯が増加していく中で「気軽に集まる居場所が欲しい」との住民の声に、前自治会長の中谷秀樹さんが中心となりこの5月にオープンしました。

会場は、住民の集まりやすい自治会の中心にある使われていない納屋を借りて、備品はみんなを持ち寄り、手作りカフェの完成です。

毎週3回、火・金・日曜日の午前9時から午後5時まで「農作業の休憩に」「田んぼを見るついでに」と人が訪れます。この日も入れ替わりで続々と地域の方々が集まりました。畑仕事の休憩にいられた中谷直一さん（83歳）は「ここに来たら誰かに会え



ひとの「わ」には、人の「輪」・「和やか」・「話」の3つの輪・和・話の思いが込められています

（波賀支部 田中祥仁）

るで楽しみなんや。昔は縁下があつたけど今はないやろ。ここは人に会って話をする縁下みたいなもんや」と話されます。テーブルの上に置いてあるお菓子はみんなの持ち寄りで、お茶はセルフサービスがこの決まりです。料金は無料のため、おもてなしを受けるのではなく、みんなで協力し合う仕組みができています。地域の理解と協力で始まった「ひとのわ」は、誰もがお客さんとして参加ではなく、一協力者として参加することで気兼ねなく立ち寄れる高齢者の憩いの場となっています。

広がった善意の輪

千種町内で「善意の日」を啓発

「今日は善意の日です。風船をどうぞ」

6月1日（木）、青空のもと、ちくさ杉の子ども園の園児たち36人が、笑顔いっぱい千種町商店街を行進しました。

社協千種支部では、毎年、善意の日に啓発パレードを行っており、風船やティッシュを配りながら善意銀行への協力を呼び掛けています。

この日は、トライやる・ウィーク（5月29日～6月2日）で職場体験に来た千種中学校2年生の生徒たちもパレードに参加し啓発活動に協力しました。

翌日の2日（金）には、善意の日広報車により千種町内の巡回キャンペーンを行い、それに合わせて自治会長様宅へ伺い「善意の預託袋」をお届けしました。

巡回中には、農作業中のみなさんが作業の手を



「自治会長さん、善意銀行へのご協力をお願いします」

止めて、「社協さん、ご苦労様です。頑張つて！」「トライやるウィークの生徒やね」と声をかけていただき、心温まるキャンペーンになりました。また、3日（土）には、千種ボランティア連絡会の協力により「ボランティアの日」として清掃活動を行うなど、千種町内で善意の輪を広げることができました。

（千種支部 横山洋子）

はが

ちくさ

トライやる・ウィーク 5/29(月)～6/2(金)

宍粟市内の3つの中学校(山崎東、波賀、千種)の2年生6人が、トライやる・ウィークでさまざまな社協の事業にチャレンジしました。

配食サービスのお弁当作りや配達、ミニデイサービス、善意月間の啓発活動などに1週間がんばった生徒のみなさん、本当にお疲れさまでした。



ミニデイサービス事業



訪問入浴事業



配食サービス事業

- ・利用者の方から「ありがとう」と言ってもらえてうれしかった
- ・いろいろな方と出会う、いろいろな体験ができてとてもよかった
- ・掃除や調理もあまりやったことがないけれど、教えてもらってちゃんとできた

ひょうごボランティア基金 平成29年度県民ボランティア活動 助成金

事前申込(エントリー)の お知らせ!

●エントリー対象グループ

- ・兵庫県内において継続的にボランティア活動を行う法人格を持たないボランティアグループ
- ・構成人数が5人以上
- ・継続的な活動を年間12日以上実施など



受付期間 7月3日(月)～8月31日(木)

助成金額 上限3万円

(エントリー受理数により助成金額を決定しますので、減額となる可能性があります。昨年実績25,000円)

詳しくは、本会各支部へお問い合わせください

▶問合せ:各支部

広げよう!ボランティアの輪! ～宍粟市ボランティア連絡会～

宍粟市ボランティア連絡会は、各支部(山崎・一宮・波賀・千種)のボランティア連絡会に加入するグループが会員となっています。会員同士の交流や研修会など、さまざまな機会に親交を深めており、ボランティア・市民活動の啓発や増進に取り組んでいます。

宍粟市社会福祉協議会では、連絡会のみなさんと協力しながら、ボランティア活動の輪を広げていきます。

会長

いちつば 光恵(千種)

副会長・会計

しんどう ひろこ 弘子(一宮)

副会長

おおいわ 辰男(山崎)

副会長

いちの ふみよ 文代(波賀)

新役員
紹介

※任期:平成29年4月1日～平成31年3月31日まで

～29年度の主な取り組み～

- ボランティアのつどい(会員相互の交流)
- 阪神淡路大震災・東日本大震災の追悼行事(竹筒づくり・ろうソクづくりなど)
- 各支部「ボランティアの日」での清掃活動
- 各支部研修会の計画実施(視察・講演会)
- ボランティア情報紙の発行
- ボランティアイベントの開催 など



ボランティアのつどい



ボランティアの日



1.17竹筒・ろうソクづくり



ボランティアイベント

読者の
感想より

毎年社協に載っているのに5月号が又新鮮に読ませてもらっています。登録されているボランティアのグループ名、輪っしょいボランティア、福祉関係団体紹介…色々な事を活動されているんですね(山崎町 女性)